

平成30年度(上半期)

寒川町みんなの地域福祉つながりプラン

進行管理表

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	1 (仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業					
事業内容 (目標)	健康、福祉、交流等の総合拠点として(仮称)健康福祉総合センターを建設検討します。					
現状と課題	寒川町公共施設等総合管理計画において、(仮称)健康福祉総合センター建設用地については既存の保健福祉施設や役場庁舎機能等を集約した複合化という形での方向性が示された。今後は施設再編課で策定する寒川町公共施設再編計画により建設検討がされます。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	施設建設にかかる取り組み					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	—	●	—	—	—	—
実 績	—	●	—	—		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		—				
備 考		目標について、寒川町公共施設再編計画により建設検討がされるため、平成29年度以降は「—」となっています。				

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	2 包括的支援事業					
事業内容 (目標)	高齢者の介護予防及び包括的ケアマネジメント、総合相談・権利擁護を実施できるよう支援を行います。					
現状と課題	地域包括支援センターの人員を増やし相談体制を強化する方針で出張相談の回数を段階的に増やしてきた。人的な体制を強化するため職員募集を行っているが思うように応募がない状態で、予定どおりの人員配置ができていない。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	包括支援センター設置数(相談窓口箇所)					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	箇所	1	3	3	3	3
実績	箇所	3	3	3		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		北部公民館及び南部公民館にて行う、地域包括支援センターの出張相談を月に各4回、毎週実施し相談体制の拡充を図れたため。				
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	3 社会福祉協議会補助事業					
事業内容 (目標)	地域福祉を推進する事業を実施している社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉が推進するよう必要な助言等を行い、連携を図ります。					
現状と課題	社会福祉協議会への運営補助を行っているが、事業ごとの実態把握に努め、適正化を図っていくことが必要。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	事業カリキュラム数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	事業	82	83	83	84	84
実績	事業	85	86	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		障がい者スポーツ体験会や福祉関係団体との懇談をとおして地域福祉実態調査等の新規事業や、ボランティアセンター、権利擁護事業等地域福祉の推進を図るために事業を展開しているため。				
備考		社会福祉協議会運営費補助金対象の社協事業数				

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	4 相談支援事業					
事業内容 (目標)	障がい者の自立した生活を送ることができるよう、制度利用や日常生活上の相談等を受け、必要な情報を提供するための相談窓口を開設します。					
現状と課題	平成18年10月から受けている相談件数は年々伸びており、複雑で支援の困難な相談を受けることもある。支援の困難なケースに対してどのように支援をしていくかが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	相談支援件数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	件	3,700	3,848	5,000	5,000	5,000
実績	件	4,906	4,896	1,817		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	B:目標に向け順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		障がいのある人を取り巻く多様な課題に伴い、相談件数は減少傾向にあるものの、その内容は一人ひとりが抱えている問題に対し、きめ細やかに対応する必要がある、より複雑化が進んでいる。				
備考		委託先:①「生活相談室すまいる」相談員4名、「障がい者相談支援事業所 ゆいっと」相談員4名				

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	5 社会福祉協議会PR活動、懇談					
事業内容 (目標)	民生委員・児童委員の会合や自治会等各団体に直接出向き、顔の見える関係づくりを通して社協に対する理解を深めてもらうとともに、意見交換を通じ、ニーズ把握に努めます。					
現状と課題	社協事業の説明を地域に出向いて行うことで理解を進めている。関係機関、自治会、民生委員、障がい当事者団体等、複数の団体と懇談を実施しながら具体的な福祉課題を把握することに努め、今後の取り組みにつなげていく。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協PR活動回数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	27	28	29
実績	回	33	25	22		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	B:目標に向け順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		社協会員会費納入の依頼に合わせ事業のPR活動を行った他、積極的に地域福祉を推進している団体（民生委員児童委員協議会、自治会長連絡協議会他）と社協役職員が地域福祉をテーマに直接懇談をすることで顔の見える関係づくりと今後の社協事業の展開に役立てられるよう取り組んでいる。				
備考		PR活動・懇談会：自治会22回				

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	6 地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大					
事業内容 (目標)	協議体であるという強みを活かし、各種の事業等で地域の個人、団体と連携・協力します。新たなネットワーク体制の構築に取り組みます。					
現状と課題	地域の気軽に集える「居場所作り」のため、人材、必要性、場所、運営等の検討を地域の方とともに連携しながら取り組んでいる。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	地域や個別の課題に対し、地域住民、あらゆる団体等とネットワーク構築をし、課題解決に向けた取り組みを行います。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		地域での「居場所作り」のため、住民グループへ立ち上げ支援を継続している。人材、必要性、場所、運営等の検討を重ねている。				
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	7 広報紙「社協さむかわ」の発行					
事業内容 (目標)	広報紙「社協さむかわ」を隔月発行し、福祉情報を全世帯にお届けします。					
現状と課題	社協の広報紙に興味を持ってもらう、社協の活動を知ってもらう為に、写真を多く掲載することが有効と考え、それを意識して作成をしている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	紙面ならではの発信力を高めるよう工夫し、地域福祉情報を分かりやすく伝えます。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		社協の周知と地域福祉活動推進のために、広報紙を通じた継続的なPRは不可欠なため。				
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	8 ホームページの充実					
事業内容 (目標)	より見やすいホームページにすべく改善・リニューアルを施し、迅速な福祉情報伝達に努めます。					
現状と課題	見やすいページ作成を心がけ、調べたい内容がすぐに検索できるようにしている。また、日々の活動をブログにて報告し、活動のPRを行っている。(社会福祉協議会)行政情報を正確にかつ迅速に公表し、行政の公平性・透明性を図れるよう努めています。(町)					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	最近の情報を伝達できるよう迅速な更新					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由	ページ全体を見やすくするため、調整を行った。ブログも定期的に更新し、活動の情報提供を行った。					
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	9 ボランティアセンター事業					
事業内容 (目標)	ボランティアについての相談窓口、ボランティアコーディネート、ボランティア情報の発信等を行います。寒川町の地域活動を支える拠点となる「(仮称)さむかわ地域活動サポートセンター」への発展を検討します。					
現状と課題	ボランティアの登録者数、活動件数とも昨年とほぼ同じ状況。学生の登録もあり、どのような活動であれば可能かを丁寧に検討・調整した。同じ方がいくつものボランティア活動をしていたり、ボランティアグループでは新規会員がなかなか無かったりという状況は継続的にある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協ボランティアセンター個人登録ボランティアの年間活動人数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	人	2,489	2,994	1,859		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		新たな活動先の開拓を行ったこともあり活動回数は増加している。				
備考		最近、自身に障がい等の生きづらさを抱える人が「ボランティアをしたい」と来所されることもある。今後も、誰も排除しない、まずは受け入れ話を聞き寄り添う、そんなボランティアセンターを目指す。話を聞き寄り添う、そんなボランティアセンターを目指す。				

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	10 ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり					
事業内容 (目標)	ボランティア活動PR強化月間を充実させ、ボランティア活動に参加するきっかけとなる講座の開催やボランティア活動の体験等の拡充に取り組みます。					
現状と課題	新規ボランティア登録者数は増加し、ボランティア活動への関心や参加の意欲が高まっている。町内のボランティアの情報発信拠点として、ボランティア活動体験(講座)、ホームページやSNSの活用等、情報発信に努めた。また、町受託事業「シニアげんきポイント」の窓口をポラセンに置いていることも、ボランティアの和の広がりにつなげたい。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	新たなボランティア登録者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	12	12	15	15	15
実績	人	18	11	14		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	B:目標に向け順調	B:目標に向け順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		新規ボランティア登録者数は増加しているが、高齢によりボランティア活動を辞退される方もおり、全体としては横ばい。				
備考		自身に障がい等の生きづらさを抱える人が「ボランティアをしたい」と来所されることや学生からの相談もあり、まずは話を聞き登録を受け付けるが、どのような活動に結びつけるとができるかをスタッフで相談することが増えている。				

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	11 民生委員・児童委員活動事業					
事業内容 (目標)	地域住民に対する的確な援助、相談、指導等の活動を行うため、研修会等の実施に対し補助を行い、資質向上を図ります。					
現状と課題	地域住民と行政のパイプ役である民生員児童委員の活動を援助するため、民生員児童委員協議会の事務及び補助を行う。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	研修回数・延べ活動日数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	回・日	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900
実 績	回・日	14 10,199	16 10,372	7 5,308		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		民生委員児童委員の任務である地域住民に対し、適確な援助や相談等の活動を行うために必要な研修を実施しているため。				
備 考		施設等への視察研修、障がい者や高齢者への理解研修等				

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	12 小地域福祉活動事業					
事業内容 (目標)	自治会等身近な地域でのサロン活動の継続的な支援や立ち上げに際しての相談・バックアップを行います。					
現状と課題	町内自治会で活動している小地域サロンに対し助成を行い、その活動を支援するとともに、地域サロン懇談会を行い、運営者同士の情報交換会を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	立ち上げ地区数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	地区	15	16	16	16	16
実 績	地区	15	15	15		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充	2:継続	2:継続		
評価の理由	小地域サロンへ継続的に活動を支援、助言している。					
備 考	地域福祉フォーラムを開催し、ワールドカフェ形式で様々な福祉団体と交流、横のつながりを強める予定。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	13 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	だれもが気軽に集い、催し物や模擬店等を通じて交流や体験出来る場を創出することを目的に開催します。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りに努めることが出来た。年々大きくなる運営は負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	4,000	4,200	4,300	4,300	4,300
実績	人	—	4,000	4,000		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		D:未実施	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充	2:継続	2:継続		
評価の理由		誰もが気軽に参加、福祉出店出来るフェスティバルとして定着しており、多くの来場者との交流が図れた。				
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	14 ふれあい・いきいきサロン					
事業内容 (目標)	仲間づくりや協力体制づくりを進めるため、障がい者や子育て中の親子等を対象に開催します。					
現状と課題	子育てサロンは、ボランティアの協力のもと、楽しいプログラムで開催できた。参加人数は昨年より増加。引き続きチラシ配布等で周知していく。障がい児者サロンは、クリスマス会とお花見を開催予定。参加者とボランティアの交流の場にもなった。今後も社協が主催で開催するサロン、居場所づくりの方向性を考える土台となった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	サロン参加者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	750	770	750	750	750
実績	人	652	855	379		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		2、3歳の子どもと保護者を対象とした「子育てサロン」はチラシ配布やママ同士の口コミで徐々に参加人数が増えている。				
備考		障がいのある方とボランティアでの交流を目的とした「障がい児者サロン」は12月にクリスマス会、3月にお花見を開催予定。				

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	15 手話奉仕員養成研修事業					
事業内容 (目標)	障がいのある人が積極的に社会へ参加できるよう支援するために、町聴覚障害者協会の協力を得ながら、手話通訳者の養成講座を開催します。					
現状と課題	手話奉仕員養成講座等により、手話通訳者を養成しているが、資格取得までつながらないことが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	講座受講者数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	人	32	32	32	32	32
実 績	人	21	21	22		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	C:目標 に向け 遅延	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		上半期は、初級Ⅰを実施。9/22に講座終了し、22名参加があった。本年は、昨年の参加状況を踏まえ、前期で初級Ⅰ、後期で初級Ⅱを開催する。				
備 考		委託先:寒川町聴覚障害者協会 初級編1コース 5月9日～9月26日 全18回開催22名参加初級編Ⅱコース 10月10日～31年3月20日 全22回で定員20名予定。				

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	16 ボランティア講座					
事業内容 (目標)	その時々の方勢やニーズに応じたテーマを内容とし新たなボランティアの掘り起こしを目指します。					
現状と課題	複数のボランティアグループの協力を得て、1日でさまざまなボランティア活動を体験できる内容で実施した。ステージコーナーでは、ボランティアによるバルーンアートや手話劇の披露を行った。子どもから大人まで、ボランティアをはじめるきっかけ、スキルアップを目的として今後も開催する。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	ボランティア講座受講者のべ人数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	120	130	100	100	100
実績	人	67	27	81		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	C:目標 に向け 遅延	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		講座を通してボランティア活動を始めるきっかけをつくることが出来、個人登録ボランティア並びにボランティアグループへの新規加入につながった。				
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	17 シルバー人材センター支援事業					
事業内容 (目標)	シルバー人材センターの機能充実、支援を推進し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図ります。					
現状と課題	平成29年度は、事業受注件数及び会員就業率ともに減に転じてしまった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	登録会員数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	389	395	395	407	413
実績	人	306	293	271		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	C:目標 に向け 遅延	C:目標 に向け 遅延		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図っている。しかし、会員資格となる60歳以上の住民の定年延長や再雇用、年金支給年齢の引き上げ等、雇用情勢や生活スタイルが変化しているため会員数が増加せず、遅延が生じていると思われる。				
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	18 高齢者の生きがいづくり等支援事業					
事業内容 (目標)	シニアクラブ(旧老人クラブ)の親睦や地域での生きがいと健康づくり推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。					
現状と課題	平成29年度は9月開催されたゆめクラブ大学やカラオケ教室等、町広報にて周知を行うなど、町民に向け積極的なPRができた。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	シニアクラブ数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	クラブ	15	15	15	15	15
実 績	クラブ	15	15	15		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	A:目標 達成		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由	シニアクラブ運営を支援し、会員同士の親睦や地域での生きがいと健康づくりを推進したため。					
備 考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	19 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	様々な団体が出店し、各団体のPRを行うと共に、団体同士、顔をつなぐことで連携を深め、福祉の輪を広げます。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りに努めることが出来た。年々大きくなる運営は負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	出店団体数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	団体	36	37	38	39	40
実績	団体	—	40	42		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		D:未実施	A:目標達成	A:目標達成		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充	2:継続	2:継続		
評価の理由		誰もが気軽に参加、福祉出店出来るフェスティバルとして定着しており、周知の結果、今年は全部で42団体の参加があった。				
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	20 小中学校福祉協力校助成事業					
事業内容 (目標)	若い福祉の芽を育てるべく、町内全小・中学校に福祉教育に係る費用を助成すると共に、プログラム内容の相談や講師の調整、当日の支援等を行います。					
現状と課題	町内小中学校全てに福祉教育の取り組みが定着してきている。子どものみならず教員への福祉の理解が進み、積極的に福祉教育への参加が見られるようになった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	学んだことを活かせるような、子どもたちの地域社会での活動					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	—	—		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		助成金のみならず、各学校の福祉教育活動への協力、調整も行い、思いやりとたすけあいの心を育んでいる。ボランティア団体や障がい当事者団体もプログラムの講師として参加することで、学校を通じた地域のつながり作りにも繋がっている。				
備考		助成申請:8校プログラム調整:6校、プログラム実施中				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	21 在宅障がい者福祉サービス充実事業					
事業内容 (目標)	障がい者の地域支援を充実することを目的とし、在宅重度障がい者のための住宅設備改良及び障がい者の日常生活の安全確保のためのSOSネットワーク等の支援を行います。					
現状と課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25	25	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		手帳発行時の制度周知を予定どおり実施したため。				
備考		新規の障害者手帳交付に伴い、それぞれの障がいの種別や状況に合わせて個別に説明を行った。				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	22 障害者自立支援給付事業					
事業内容 (目標)	障がい者が日常生活及び社会生活において自立した生活を送ることができるよう、必要な介護及び訓練等の提供を行います。					
現状と課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25	25	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		手帳発行時の制度周知を予定どおり実施したため。				
備考		新規の障害者手帳交付に伴い、それぞれの障がいの種別や状況に合わせて個別に説明を行った。				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	23 子育て支援事業					
事業内容 (目標)	子育て支援策の一環として、子育てサポートセンターを拠点に、子育て相談・虐待相談・育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行います。					
現状と課題	利用者数について前年度の上半期と比較すると、親子組数及び人数は減少しているものの、初回利用のきっかけ作りとしてイベント内容を工夫するなど取組みを強化したことで、初参加者親子組数及び人数は増加傾向にある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	子育て支援センターの利用者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	12,250	9,200	9,200	9,260	—
実績	人	9,101	9,259	4,613		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		子育て家庭が自由に利用できるフリースペースと支援が必要な家庭に対する相談・見守りを展開している。また、初回利用者のきっかけ作りとしてイベント内容を工夫するなど取組みを強化している。				
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	24 児童クラブ運営事業					
事業内容 (目標)	保護者が仕事などで昼間、家にいない家庭の子ども達(小学生)の健全な育成を図るため、地域の理解と協力を得て、児童クラブの適正な運営を行います。					
現状と課題	全ての小学校区に児童クラブを設置し、NPO法人に委託をして運営を行っている。今後、入所希望児童数の増加が見込まれることから、待機児童の解消に向けて検討していくことが必要。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	入所を希望する者に対しての入所率					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	%	100	100	100	100	100
実績	%	99	99.8	89.1		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		昨年度と比較すると待機児童数が増加し、28名となった。来年度に向け。対応について引き続き検討していく。				
備考		入所者数237人 希望者数265人				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	25 ふれあい塾運営事業					
事業内容 (目標)	安全に遊べる場所である放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら安心して遊べる場を提供し、より多くの児童が安全に過ごせる環境を整えます。					
現状と課題	ふれあい塾の実施日は週3回となっている。放課後子ども総合プラン推進に向け、実施日の増や見守りボランティアの確保に向けて検討していく。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	延べ開所日数(5校合計)					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	日	—	520	520	520	520
実績	日	505	494	232		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向			B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止			2:継続	2:継続		
評価の理由		学校の行事等により、予定している開所日数が減となることがあるが、登録人数や利用人数はほぼ昨年と変わらない。今後も事業は継続していく。				
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	26 高齢者在宅福祉サービス事業					
事業内容 (目標)	在宅生活が困難である高齢者等が安心して生活が送れるよう必要に応じて各種支援を行います。					
現状と課題	在宅生活が困難である高齢者が安心して生活が送れるよう、介護保険の利用も含めた相談対応等を行っている。また、生活支援等サービスについては、寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議において、その体制整備について検討を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	必要に応じた適切なサービス提供を行います。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成	A:目標達成	A:目標達成		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		各個人の状況に応じた適切な案内等を行った。また、生活支援等サービスの整備体制について、寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議において、その体制整備について検討を行った。				
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	27 成年後見制度講座の開催					
事業内容 (目標)	成年後見制度に関する講座を開催し、制度の普及・啓発を行います。					
現状と課題	町民へ成年後見制度を理解してもらうために講座を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	30	30	30	30	30
実績	人	29	22			
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	B:目標 に向け 順調	D:未実 施		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		平成31年3月に開催予定。				
備考		初めてでもよくわかる、基本から学ぶ成年後見講座と題して平成31年3月21日(木・祝)に開催予定。町内・在住・在勤・在学の方を対象に参加をよびかける。				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	28 法人後見事業					
事業内容 (目標)	成年後見制度の利用が困難な方を中心に、その担い手を法人として引き受け、権利擁護推進の一助とします。					
現状と課題	高齢、後見類型2名受任中。引き続き事業を継続する。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	受任件数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	件	2	3	3	3	3
実 績	件	1	1	2		
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		目標件数3件に対し、2件の受任のため。				
備 考		平成30年6月:高齢者(男性)・後見類型受任(施設入所中)。平成30年10月:高齢者(男性)・後見類型受任(在宅)。				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	29 健康普及事業					
事業内容 (目標)	地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくり等に取り組むための機会や場を提供します。					
現状と課題	健康づくりに取り組むための機会を提供しているが、その結果町民が安心して暮らせるようになっているかの評価ができていない。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康づくりや食育をテーマとする講座の年間開催数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	65	67	67	68	68
実績	回	73	65	34		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由		健康運動ボランティアによる体操の日など、継続的に参加できる機会を提供できた。延べ2,210人参加。				
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8) 安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	30 健康増進事業					
事業内容 (目標)	健康についての正しい知識を得ることで健康に対する心配や不安を解消するため、健康教育等の事業を対象者へ周知・勧奨します。					
現状と課題	がん検診は、現行の受診券の運用が2年目になり、受診券の活用慣れたことで、自ら受診に行ったり、自分の希望する受診方法を選択できるようになった。個別通知を行っている検診について、内容が伝わりづらく、受診者数が少ないとの課題がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康増進事業の周知回数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	43	45	45	61	61
実績	回	52	45	22		
評価 A: 目標達成 B: 目標に向け順調 C: 目標に向け遅延 D: 未実施 E: 廃止の方向		B: 目標 に向け 順調	B: 目標 に向け 順調	B: 目標 に向け 順調		
今後の方向性 1: 拡充 2: 継続 3: 縮小 4: 廃止		2: 継続	2: 継続	2: 継続		
評価の理由		保険年金課と協力し、国保加入者へがん検診の受診券を個別通知、受診勧奨を継続する事ができた。保健福祉事務所との連携で、健診の受診に繋がったケースもあった。健康に関する行動を始める契機とするための周知を継続する。				
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8) 安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	31 緊急通報システム(高齢者在宅福祉サービス事業)					
事業内容 (目標)	慢性疾患があり、日常生活を過ごすことに不安がある独居高齢者に対し、緊急事態発生時に迅速な救援体制が取れるように緊急通報システムを貸与します。					
現状と課題	登録者数(年度末時点)平成26年度・・・18名、平成27年度・・・17名、平成28年度・・・14名、平成29年度・・・15名					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成	A:目標 達成	B:目標 に向け 順調		
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続	2:継続	2:継続		
評価の理由	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援したため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8) 安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	32 避難行動要支援者支援事業					
事業内容 (目標)	災害時における要支援者の安否確認や情報の伝達、迅速な避難誘導を行うため、特に配慮を要する者について名簿を作成します。					
現状と課題	避難行動要支援者の名簿の作成と更新を行う。対象者を把握することが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	避難行動要支援者の把握、同意確認、情報の共有・個別支援計画の作成支援					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●	●	●		
評価 A: 目標達成 B: 目標に向け順調 C: 目標に向け遅延 D: 未実施 E: 廃止の方向		A: 目標達成	A: 目標達成	B: 目標に向け順調		
今後の方向性 1: 拡充 2: 継続 3: 縮小 4: 廃止		2: 継続	2: 継続	2: 継続		
評価の理由		5月に名簿及び個別支援プランを避難支援関係者である自治会(自主防災組織)や民生委員児童委員などに提供を行った。				
備考		12月1日現在対象者数: 1, 890人同意者: 744人同意率: 39. 36%				

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8) 安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	33 災害ボランティアセンター					
事業内容 (目標)	災害時のボランティア活動の拠点として、町・さむかわ災害ボランティアネットワークと協力し災害ボランティアセンターの設置、運営を行います。また、備えとしての訓練はより実践的な内容で取り組みます。					
現状と課題	町総合防災訓練の会場において、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施。町総務課、さむかわ災害ボランティアネットワーク、町社協、一般等で24名の参加があった。町が大規模災害に見舞われた際にどのようにボランティアを受け入れ、支援してもらうのか、具体的なイメージ定着してきている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	2	2	2	2	2
実績	回	2	1	1		
評価 A: 目標達成 B: 目標に向け順調 C: 目標に向け遅延 D: 未実施 E: 廃止の方向		A: 目標達成	B: 目標に向け順調	B: 目標に向け順調		
今後の方向性 1: 拡充 2: 継続 3: 縮小 4: 廃止		2: 継続	2: 継続	2: 継続		
評価の理由		例年通り、寒川町総合防災訓練の会場において、寒川町災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施した(9月23日)。寒川町総務課、さむかわ災害ボランティアネットワーク、社協と連携強化の必要性を実感。また必要最小限の書類等の記載内容とセンター運営スタッフを想定し訓練に取り組んだ。				
備考						